

○信越総合通信局長表彰

「電波の日」(2団体、1個人)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
株式会社テレビ松本ケーブルビジョン (代表取締役社長 佐藤 浩市)	ケーブルテレビ事業者としていち早く臨時災害放送局設備を導入し、地域の防災力向上に貢献するとともに、日本で初めて4K生中継放送を実現するなど、放送の普及発展に寄与されました。
小諸市 (市長 小泉 俊博)	火山防災対策として携帯電話不感エリアの解消を図るため、浅間山登山道に携帯電話基地局を整備し、登山者の安全確保及び電波利用の普及促進に貢献されました。
手塚 翼 (元 公益財団法人日本無線協会信越支部 講師)	永年にわたり、公益財団法人日本無線協会信越支部の講師として、国家試験や養成課程による無線従事者の養成に尽力されました。

「情報通信月間」(3団体)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
新潟市 (市長 篠田 昭)	農業分野におけるICT活用により稲作の効率化に取り組むとともに、プログラミングITキャンプにより若年層のICT人材を育成するなど、情報通信の発展に多大な貢献をされました。
長岡在宅フェニックスネットワーク協議会 (代表 長尾 政之助)	在宅患者情報を共有するフェニックスネットを運用するとともに、市の救急隊とも接続し適切な救急対応を可能とするなど、ICTを活用した地域医療に多大な貢献をされました。
長野県企画振興部 (企画振興部長 小岩 正貴)	信州の魅力あふれる4Kコンテンツの制作やふるさとテレワークの推進、火山防災対策としての携帯電話不感エリアの解消など、情報通信の普及促進に多大な貢献をされました。

○信越総合通信局長感謝状 (2団体)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
日本放送協会長野放送局 (局長 土岐 健)	木曾地域におけるAMラジオ放送難聴地域の解消を図るため、FM補完中継局を開設し、当該地域におけるラジオ放送の確保に貢献されました。
株式会社上田ケーブルビジョン (代表取締役社長 母袋 卓郎)	インターネットを安心・安全に利用するためのネットリテラシー講座を多数開催し、青少年のインターネットリテラシーの向上に貢献をされました。